



あきらめない、政治を。

少子高齢化が進み、人口が減少する。

これからやって来るのは、誰も経験したことのない時代。
これまで通りの発想では、大切な未来を守ることはできない。

現実を認識し、大切なものを守るのは、
皆さんの選択です。



NO
選挙カー！



選挙カー、やめました。

自転車で回っています！

改革を求める、自分も改革！

■選挙カーは使わず、北名古屋市内を自転車で回っています。皆様のご意見やご要望・ご相談をぜひお気軽に、わたしにお聞かせ下さい。街頭演説の後でもOK!!

政策や普段の活動など、詳しくは本人までお気軽にご質問ください！

<http://katsuragawa.info> f Masa.Masanori.Katsuragawa

☎ 090-8532-6156 ✉ support@katsuragawa.info

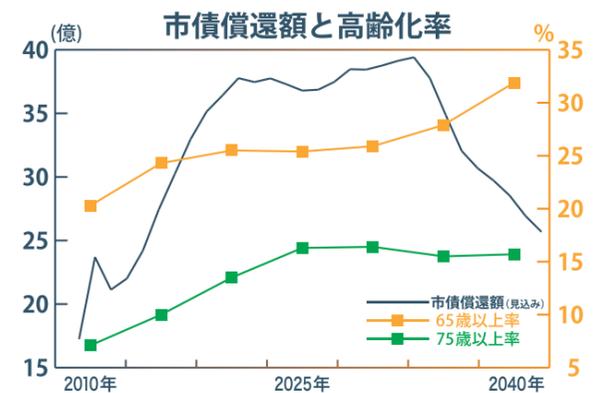
Yesか、Noか。

未来を守るのは、あなたの選択です。

Q.1 公共施設は増やすべき？

施設の統廃合を進めることで、賢いお金の使い方が必要!!

北名古屋市の財政の見通しは厳しい状況です。右のグラフはすでに事業化が開始されたものだけであり、実際にはほかに多くの事業が予定されています。それらが実施されれば、借金の返済はさらに増えることになります。今後、日本では人口が減少し、経済を支える現役世代が減っていく傾向にあります。これまで誰も経験したことのない、未知の社会です。子どもに借金のツケをまわさないためにも、公共施設の圧縮、すなわち「選択」と「集中」が必要なのです。



例えばこの街にある2つのプール。年に約5000万円ものお金が掛かっています。夏休み僅か42日間の営業日で、1日あたり約120万円。屋外型プールは維持にも大変なお金が掛かる一方、名古屋市温水プールは年に約8000万円です。1年間ずっと利用できるため、利用者が増えれば採算をとることもできます。わたしは議会で、もっと賢いお金の使い方をすべきだと提案しています。

Q.2 行政だけが街の主角？

志 課題解決には、行政側だけでなく、市民のみなさんの協力も必要です！

より良いまちをつくるには、主役であるわたしたち市民自身が鍵です。地域の課題は、解決方法を行政が勝手に決めるべきではありません。しかしながら、市民協働の参加者は、まだまだ一部にすぎないのが現実です。地縁団体の自治会やボランティア、NPOなど様々な組織の取り組みを活性化するには、小学校区のコミュニティ規模で活動し、それぞれの力を合わせる必要があるのです。わたしたち一人一人に、地域を作る権利があります。



顔のわかる範囲が
コミュニティの基盤です!!

Q.3 議員はリストラすべき？

志 「議会改革」には、「効率化」と「品質維持」の両立が必要です！

海外の市議会を参考に、「量から質」への転換による議会機能の向上を提案しました。迅速に動ける「自立した議会」、よりきちんとした目的意識を持ち確実に成果を出すよう「議会の効率化」をはかり、積極的な情報公開による市民参画しやすい「開かれた議会」を作るなど、改革を徹底的に行うことで、たとえ他の国のように議員定数を10名まで大幅に削減しても、意見の多様性や、審議機関としての議会活動の品質が十分に確保できます。



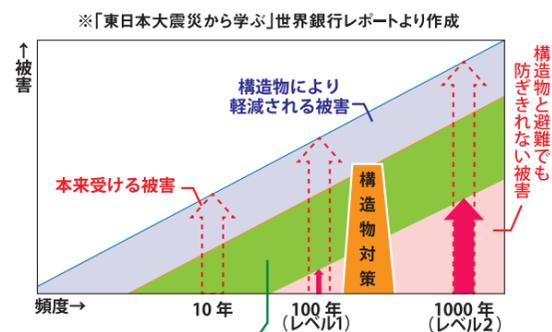
議員各自が成長し、議会を効率化することで、見た目の数は減っても、より大きな結果が出せます。

Q.4 自分で身を守れますか？

志 災害のとき、まず最初に生命を守るのは、あなたの行動です！

被災時に情報を提供するため、YahooやGoogleとの防災協定を進めるよう提案しました(2013年12月)。

低頻度・巨大災害への防災戦略として、自分自身の生命を守ることができるのは消防や行政ではなく、自分自身の行動がもっとも重要になります。大人だけでなく子どもも被災時の行動を体験できるリアル脱出ゲームなど、内発的行動となる避難訓練の実施を提案します。



被害は避難意識の強化で軽減できます。

Q.5 働ける街がいいですか？

志 住むところに必要なのは「交通」「買い物」そして「仕事」。

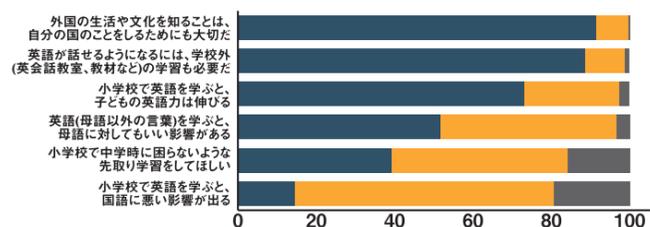
働く場所が無い街からは、人が離れていきます。まちづくりのまさに生命線となる地域産業の振興のため、まずは企業が名古屋芸術大学などの地域リソースを有効活用できる仕組みづくりを進めます。また、市内企業の商品やサービスにきちんとしたデザイン視点を加えることで、差別化の推進を支援し、北名古屋発の商品やサービスが日本一となることを目指します。

Q.6 英語教育は必要ですか？

志 子どもたちの英語力向上は、現代社会での急務です！

インターネットの普及や国際化が進み、英語での意思疎通や情報収集能力が以前にもまして問われる時代になりました。いまや英語を話せることは必須ともいえるほど重要になっており、小学校でも2020年から英語教育が必修科目となっています。北名古屋市では先んじてALT(外国語指導助手)の拡大が今年度から実現(2013年12月提案)。次の段階として子どもはもちろん大人も英語を学べる環境を築くため、積極的に英語圏との国際交流を図ります。

「海外を知ること大切だ」と感じている人が約9割、「英語が話せるようになるために学校以外での学習が必要だ」と感じている人も、8割を超えています。



※ Benesse教育研究開発センター調べ

Q.7 あなたは、北名古屋市をどんな街にしたいですか？

- 子どもを育てたくなる街
- 老後に住み良い街
- 優れた教育の街
- みどりの豊かな街
- 文化と芸術の楽しめる街
- 活気のある街

etc....

みなさんのご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

徳重・名古屋芸大駅周辺のまちづくり問題

現在、県道161号線の徳重・名古屋芸大駅周辺は歩道がありません。小中学生の通学路であり、芸大生も多く歩いているこの県道。事故が非常に心配です。

徳重・名古屋芸大駅周辺のアンケート調査結果。459件もの回答が寄せられ、周辺のご家庭や通勤者の大多数の方が、駅前への歩道整備を必要としている、と答えられました。

徳重・名古屋芸大駅周辺整備について、優先すべきだと思う項目



愛知県と北名古屋市では、古い都市計画を変更し、駅周辺のまちづくりと一体化した名鉄犬山線を高架化する都市計画へ変更する方向で検討が進んでいます。

歩道整備を早急に進めるにしても、都市計画の決定を待つにしても、整備のためには資金確保が重要です。わたしは新しい都市計画でのまちづくりの目的を明確化すること、徹底的に行政改革を進め必要資金を準備することを求めています。

駅利用者および駅周辺住民の項目別満足度調査

